

令和5年2月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

令和5年2月1日(第214号)

中村一博さん・奈緒さん

5日(木) 浅間神社に初詣に行きました。



結婚して初めての
お正月を
迎えました。



稲毛駅から歩いて、お祭りの時ほど混み合っ
てはいませんでした、遠く感じました。

千葉大学 大学院看護学専攻 田上美千佳教授からメッセージが届きました。

本日は、「けやきと仲間 めーる 1月号」をいただきありがとうございました。

けやきと仲間の皆様の温かさの感じられる「けやきと仲間 めーる」に私の心も温かくなりました。実習生を旅行に連れて行っていただき、また、川柳も掲載していただきありがとうございます。大学では見られない学生たちの様子がわかるような川柳です。学生の記録物を読みまして、これまでは「大学構内でのパン販売活動を見たことがあったので、買えば良かった」「これからは買いたい」というような、皆様の活動を大学内で見かけたということを書いた学生もおりましたが、コロナ禍になってからはそのような記録がなくなりました。まさにコロナ禍で、皆様の活動も自粛されたり、学生も大学に行かない日々で、単位をとる以外に、さまざまなことを大学生生活で普通に体験する機会や、目に入る経験さえなかったのだと思い、複雑な気持ちです。

一方、精神障害の方々のことは、授業でいくら伝えてもわかっていないことが、皆様との交流で少しはわかるようになるという体験をさせていただいております。病棟での実習をさせていただきましても入院の先には退院後の地域社会での普通の生活があることを、体験的に理解して、そのためにどうするのかを考えられるようになればと思います。学生はそちらで実習させていただくことで、オンラインでは学べない貴重な体験を力にしていってくれていると思います。(そう信じたいです。) 力にできていない

学生であっても、障害を抱えたり生きづらさを感じたりしている人に、何らかの理解を示すようになっていきたいと思います。機会のある時に役に立てるようになってほしいと思っています。

このような貴重な機会を与えてくださっておりますことに、改めてお礼を申し上げます。来年度は、10月からこれまでの倍の実習をお願いさせていただきたくよろしくお願いたします。(12月27日)

・今後の実習予定

千葉大学看護学部	2月13日・14日	3名(韓国留学生1名)
	5月9日~12日	6名
おおたかの森専門学校	2月20日~16日間	1名

・1月6日~12日、この8日間の実習生だった聖徳大学の晴貴さんは、大変楽しかったそうです。



実習生晴貴さんの自画像



1番右が晴貴さんです。

12月9日(金)精神保健福祉ボランティア講座に、加瀬智之さんと中村三成江さんが講師として参加しました。看護学部の実習生も見学しました。

~受講者の方たちからのアンケートをご紹介します~

・けやきと仲間の方のお話が印象的だった。私も精神障害ですが、もっと自分に対して病気のことを勉強しなくてはと思った。

・お二人の丁寧でわかりやすく、具体的なご希望と勇気を持って話し頂き、大変ありがとうございました。全てのお話をメモにとらせていただきました。職場で、家庭で心がけて実践して参ります。

・メンバーさんと過ごす時は「けやきと仲間」の加瀬さんの言葉を忘れずに、傾聴のスキルを念頭に接することが大切だと思知らされました。

長い道のりで娘夫婦は障害枠で働くことができるようになりました。本当に10年前とは随分精神保健分野も良く変化してきています。欧米諸国に比較すると、日本はまだですが…。この年にして(70歳近いので)遅いですが、何か少しでもボランティア活動ができればと思っています。96歳の母と同居の身なので、フルに活動は無理ですが…。

・加瀬さんのお話がとても分かりやすく、誠実でまっすぐなお人柄がにじみ出ていました。ボランティアに参加するにあたって、特別何か(特技)が上手いことは求めていなくて、一緒に同じ時間を過ごす



ことが大事なのだという話、ケンカをしてしまう事もあるが、だからといって辞めないでほしいという話、とても心に響きました。

・加瀬さんは、同じ仲間であるということを忘れないでほしいとのことでした。精神と聞くとどうしても気を使ってしまうと思いますが、同じ人間の仲間としておつき合いしたいと思います。

・精神保健福祉ボランティアについて、少しずつイメージできるようになってきました。自分にも何か出来ることがあれば参加してみたいと思いました。

・加瀬さんのお話が聞けて、大変参考になりました。また薬が良くなっていることも知りました。ボランティアも心から楽しめることが重要だと思えました。

・発症から立ち直っていく状況をはじめ、手を差し伸べてもらいたいこと、思っていること等、当事者でなければわからない話を聞くことができ、大変参考になりました。

・体験談…とてもわかりやすくお話ししてくださったので理解が深まりました。ボランティアとして楯になれるような人間ではなくても、仲間としてならボランティアも可能かなと思いました。

・体験談はとても参考になり、もっと個人的に質疑したかったくらいです。「長い目で見てほしい」という言葉が重く感じました。

・ボランティアとして無理に役に立とうとするのではなく、ただいること…自分も楽しみながら出来る範囲で参加していきたいと思いました。



澁谷英之さん（けやき太郎）

1月22日（日）ぴりーぶマルシェに参加しました。ボランティアの梶原さん、田嶋さんを初めとする11人のお客様が来て下さいました。

石川世喜子さん（元ぎやまん亭さん…チャンポンメン、餃子が美味しかった）
市政だより（ポスティング作業）将棋などをメンバーさんと楽しく語らいながら参加して下さいます。